

貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	3,774	流動負債	2,696
現金預金	93	支払手形	979
受取手形	1,149	工事未払金	1,350
完成工事未収入金	1,403	未払法人税等	14
材料貯蔵品	736	未成工事受入金	48
前払費用	43	完成工事補償引当金	76
未収入金	75	工事損失引当金	41
仮払金	290	賞与引当金	137
短期差入保証金	19	未払金	28
貸倒引当金	△ 36	その他	18
固定資産	232	固定負債	499
有形固定資産	0	退職給付引当金	445
工具器具・備品	0	役員退職慰労引当金	53
無形固定資産	208	負債合計	3,195
ソフトウェア	208		
投資その他の資産	23	純 資 産 の 部	
関係会社出資金	17	株主資本	811
従業員長期貸付金	0	資本金	450
長期前払費用	0	資本剰余金	554
差入保証金	4	資本準備金	450
その他投資等	115	その他資本剰余金	104
貸倒引当金	△ 113	利益剰余金	△ 193
		その他利益剰余金	△ 193
		繰越利益剰余金	△ 193
		純資産合計	811
資産合計	4,007	負債・純資産合計	4,007

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) たな卸資産の評価基準および評価方法

未成工事支出金…個別法による原価法

材料貯蔵品 …移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

(a) 有形固定資産……………平成10年4月1日以降取得の建物(建物附属設備を除く)は定額法、それ以外は定率法

(b) 無形固定資産……………自社利用のソフトウェアは、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法、その他は定額法

(3) 重要な引当金の計上基準

(a) 貸倒引当金は、営業債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(b) 完成工事補償引当金は、完成工事に係る手直し費用の発生に備えるため、完成工事高に対する当該費用の発生率に基づいて計上しております。

(c) 賞与引当金は、従業員に対する賞与金の支給に備えるため、支給額を見積り当期の負担に属する額を計上しております。

(d) 工事損失引当金は、受注工事の将来の損失に備えるため、当期末における手持工事のうち、翌期以降の損失発生が確実であり、かつ損失額を合理的に見積ることが可能な工事について、その損失見込額を計上しております。

(e) 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

なお、平成23年3月31日現在の退職給付債務469百万円については、(株)横河ブリッジに計上されております。

(f) 役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金等取扱規定に基づく期末要支給額の総額を計上しております。

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

完成工事高の計上は、当期末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

(5) 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 当期純損失金額

269百万円